

授業概要

小学校家庭科の目標や指導内容、指導方法に関する基本的事項及び効果的な学習指導を実践するための指導計画、評価、施設・設備等について理解を深める。また、望ましい家庭科の指導内容や授業構成について考究し、教育実践における諸問題を検討する。

授業計画

第 1 回	初等家庭科教育法の概要説明
第 2 回	小学校家庭科の内容
第 3 回	家庭科の学習指導について① 学習指導要領の分析
第 4 回	家庭科の学習指導について② 小学校教科書の分析
第 5 回	学習指導案の作成① 作成方法について
第 6 回	学習指導案の作成② 模擬授業の検討、教材・教具の準備 (1) 授業の展開 (情報機器の活用を含む)
第 7 回	学習指導案の作成③ 模擬授業の検討、教材・教具の準備 (2) 資料の作成 (情報機器の活用を含む)
第 8 回	模擬授業と教材研究①家庭生活と家族 (情報機器の活用を含む)
第 9 回	模擬授業と教材研究②食事の役割と栄養
第 10 回	模擬授業と教材研究③調理の基礎 (調理実習)
第 11 回	模擬授業と教材研究④衣服の着用と手入れ
第 12 回	模擬授業と教材研究⑤生活に役立つ物の製作 (裁縫)
第 13 回	模擬授業と教材研究⑥快適な住まい方
第 14 回	模擬授業と教材研究⑦身近な消費生活と環境 (情報機器の活用を含む)
第 15 回	模擬授業と振り返り・評価について (情報機器の活用を含む)
第 16 回	まとめ レポート提出

到達目標

家庭科の目標や指導内容・指導方法等について理解を深め、創造的な視野をもって家庭科の学習指導ができるようにすることを目的とする。

小学校家庭科の目標や指導内容、指導方法、評価法に関する基本的事項を理解し、効果的な学習指導を実践するための指導計画を立てることができる。指導計画に基づき、学習指導案を作成し、模擬授業実習を行うことで、実践力を養う。

履修上の注意

出席日数2/3以上を満たしていない場合は、単位修得はできない。
学校教諭を目指す学生は、「家庭」を履修していることを前提とする。

予習・復習

予習として、テキスト、小学校学習指導要領解説（家庭編）、小学校家庭科教科書（2冊）を授業に必ず用意し、授業計画に該当する内容を読んでおくこと。授業で学んだこと、課題等を復習として各自行うこと。
新聞やインターネットから、家庭、生活に関する時事問題を探しておく。

評価方法

模擬授業への取り組み（学習指導案作成、教材作成含む）（40%）、期末レポート及び授業内課題レポート（60%）から総合的に評価する。

テキスト

- 『小学校家庭科教科書』（開隆堂）・（東京書籍）
- 『家庭—教科指導法シリーズ 小学校指導法』池崎喜美恵編著（玉川大学出版部）
- 『小学校学習指導要領解説 家庭編』（文部科学省）